

“第 66 回 Kozoom サロン 28 の報告”

皆さん今日はお疲れ様でした。皆さんご協力のお陰で 2025 年最後の Kozoom28 を無事終える事が出来ました。ここにお礼を申し上げます。

会に先立つエッセーでは、清水健二さんから「2025 年大阪・関西万博から学んだこと」野口幹夫と林田明氏と中西卓氏より「2025 年を振りかえって」のエッセイをいただきました。年末にふさわしい前奏曲となりました。

会は今回久しぶりで神さんが、お孫さんが持ち込んできたパソコンを使って参加してくださって 9 名の参加となりました。徳山さんの PC の具合が悪く参加されながら映像音声が出ませんでした。次回は回復されますよう願っています



本日の出席者は（敬称略）

写真上段左から 野口 石原 中西 林田

中段 清水 山本 千葉 西川

下段 神 徳山 計 10 名

会は林田さんの救急車体験から始まり。皆さんの多くから同じく救急車体験を語られました。皆さん林田さんのおっしゃる通りいつ何が起きるかわからないのでその時のために諸準備を怠らないようにとの忠告を受けました。また介護認定のことが話題になり、その手続きなどにつきその経験のある神さんからも助言がありました。石原さんから高津歩こう会の参加して途中で歩行困難になった経験や千葉さんからも歩くことの大切さと杖や休み休み歩くことなどの体験を語っていただきました。中西さんが、ザ・フォーク・クルセダーズの『帰って来たヨッパライ』の「おらは死んじまっただ」の歌の感想を求められたのに対し、野口が人間肉体の死の後の魂の宇宙への帰還と新しく始まる活動についての見解を話しました。

今年はそれで締めとなりましたが、来年も皆様元気に顔を合わせましょうとよいお年をお迎えくださいの応答で幕を閉じました。

でお会いしましょう。

録画記録：<https://youtu.be/XYDEJPWE204>

令和 7 年 12 月 28 日

(完)